

平成30年度

登米市水道事業会計予算書

並びに予算に関する説明書

〔2月2日提出〕

宮城県登米市

議案第18号

平成30年度登米市水道事業会計予算

(総則)

第1条 平成30年度登米市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水件数	30,400	件
(2) 年間総配水量	9,035,800	m ³
(3) 年間総有収水量	7,780,100	m ³
(4) 主な建設改良事業		
ア 取水施設整備事業	25,029	千円
イ 浄水施設整備事業	170,127	千円
ウ 配給水施設整備事業	1,400,311	千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入	
第8款 水道事業収益	2,582,351		千円
第1項 営業収益	2,257,090		千円
第2項 営業外収益	325,076		千円
第3項 特別利益		185	千円
	支	出	
第9款 水道事業費用	2,565,908		千円
第1項 営業費用	2,324,129		千円
第2項 営業外費用	220,978		千円
第3項 特別損失		801	千円
第4項 予備費		20,000	千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,137,581千円は、過年度分損益勘定留保資金1,042,610千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額94,971千円で補てんするものとする）。

		収	入	
第10款	資 本 的 収 入		1, 163, 420	千円
第1項	企 業 債		815, 500	千円
第2項	負担金及び補償金		80, 031	千円
第3項	補 助 金		184, 699	千円
第4項	出 資 金		74, 313	千円
第5項	加 入 金		8, 877	千円
		支	出	
第11款	資 本 的 支 出		2, 301, 001	千円
第1項	建 設 改 良 費		1, 597, 867	千円
第2項	企 業 債 償 還 金		703, 134	千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
ア 取水施設整備事業	千円 11,000	証書借入	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金については、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融資条件による。ただし、企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借り換えることができる。
イ 浄水施設整備事業	101,400			
ウ 配水管整備事業	436,700			
エ 管路緊急改善事業	266,400			
合 計	815,500			

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第6条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

職員給与費

251, 579 千円

(他会計からの補助金)

第7条 地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第17条の3の規定に基づく登米市一般会計からこの会計へ補助を受ける事項、金額は次のとおりと定める。

事 項	金 額
統合簡易水道繰入金（東和）	7, 372 千円
統合簡易水道繰入金（石越）	27, 176 千円
統合簡易水道繰入金（横山）	20, 194 千円
合 計	54, 742 千円

(たな卸資産の購入限度額)

第8条 たな卸資産の購入限度額は、52, 436 千円と定める。

平成30年2月2日提出

登米市長 熊 谷 盛 廣